

予報期間 4月18日から4月24日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 20日は、日本海の低気圧は北海道付近へ進み、前線が北・東日本付近を通過する。また、西日本南岸付近の低気圧は日本の南へ進む。
- 21日は、低気圧は日本の東へ進み、高気圧が日本海へ移動する。
- 22日は、高気圧は日本の東へ移動する。低気圧が中国東北区へ進み、気圧の谷が華中から朝鮮半島付近へ進む。
- 23日から24日は、低気圧がゆっくりと沿海州付近へ進み、気圧の谷が日本付近を通過する。高気圧が華中から東シナ海へ移動する。

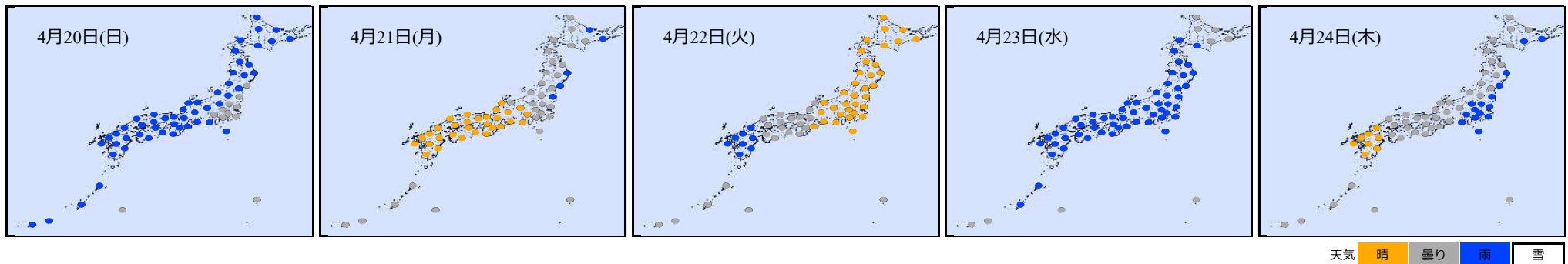
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

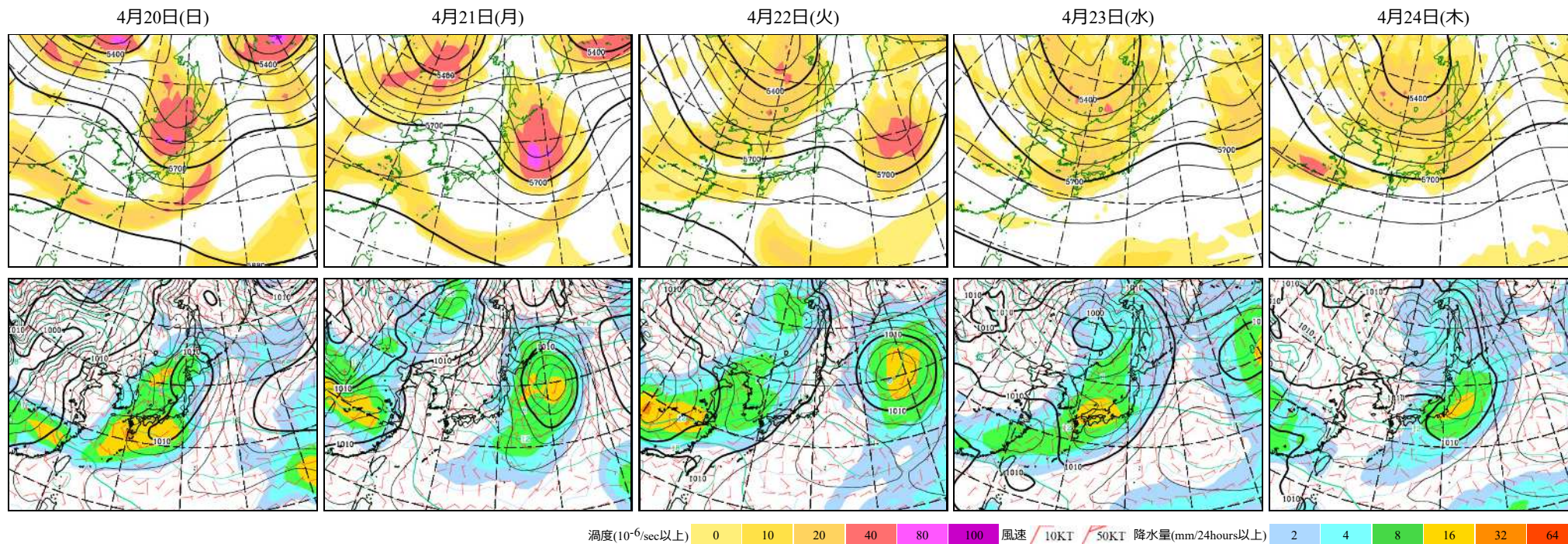
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

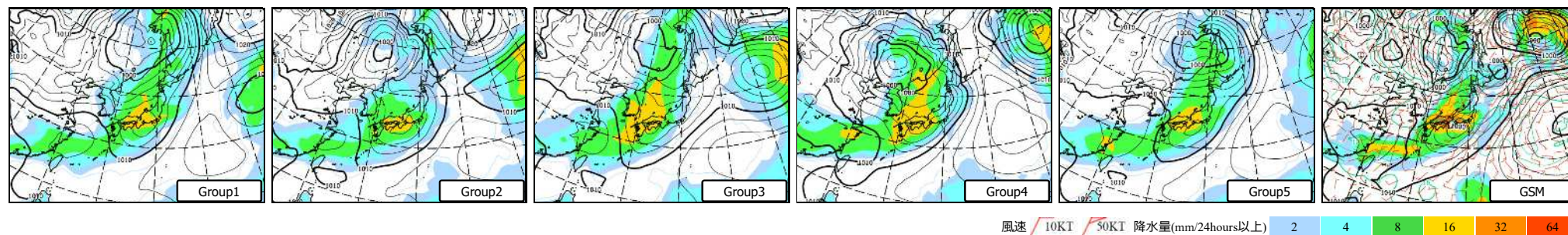


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨の降る日が多いが、22日は晴れる所が多い。
- 東日本太平洋側は、曇りや雨の降る日が多いが、21日と22日は晴れる所がある。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、21日と24日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月23日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、20日は日本海のトラフがやや深くなり、北海道付近へ進む低気圧が明瞭となった一方、西日本南岸の低気圧は日本の南へ離れる予想となり、関東甲信や東南北部太平洋側の降水確率が小さくなった。また、22日は中国東北区のトラフがやや深くなり、朝鮮半島付近の気圧の谷が明瞭となった。
- 20日は、低気圧が北海道付近へ進み、前線が北・東日本付近を通過する予想や、西日本南岸の低気圧が日本の南へ進む予想は、各モデルでおおむね揃ってきた。一方、23日頃に日本付近へ進む低気圧の予想は、モデル間の差や初期値変わりがみられ不確実性が大きいものの、日本付近が広く気圧の谷となる予想はおおむね揃っている。
- スプレッドは、期間の後半は大きく、各特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。